



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

知りたい
投信 なるほど
リップバー

国際分散投資の中身を確認しよう

「世界」と言っても米国株が6割

「国際分散投資をすればリスクが軽減できる」と言われます。では個人投資家が世界中の株式市場に目を光らせることができるかと言うと、実際には至難の業。そこで「全世界株式」「グローバル株式」「国際株式」などの名称の投資信託の出番です。

代表的な指数は「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス」と「FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス」です。それぞれ、米国のMSCI社、英国のFTSE社が算出する指数です。どちらも、世界全体の株式市場の「ものさし」として知られ、世界の上場株式が時価総額に比例して構成されています。

昨年末時点で、「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス」は先進23

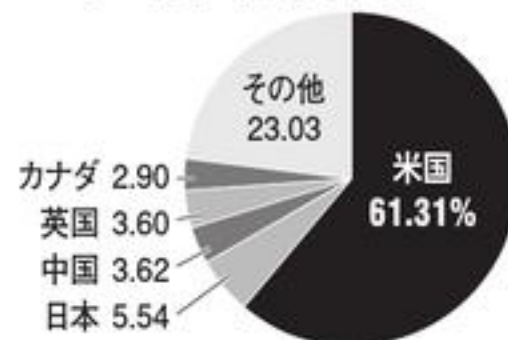
カ国と新興25カ国の大型・中型株で構成。「FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス」は、先進25カ国と新興24カ国で、大型・中型株のほか、小型株も含まれています。

「世界の株式に分散投資」というと、北米、アジア、欧州、そのほか新興国にバランスよく分散しているようなイメージが浮かびますが、実際には両方とも米国株が6割を占めています＝円グラフ。これは米国の株式市場の規模が巨大なため。また、業種別の構成銘柄は表の通り、全産業に均等に分散しているわけではありません。

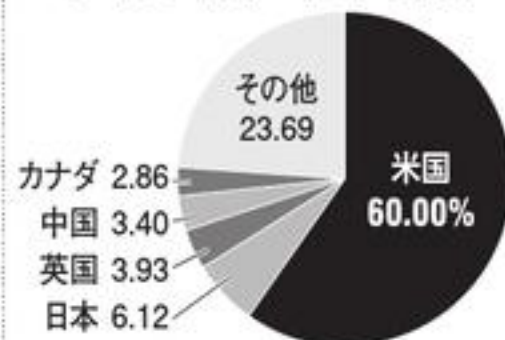
ほかに、日本国内で販売される投信のベンチマークには、全世界の株式から日本株だけを除いた指標を使うものがあります。これは、日本人

組入されている国・地域の内訳 2021年12月31日時点作成のファクトシートから

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス



FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス



業種別構成比

(2021年12月31日時点作成のファクトシートから)

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス		FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス	
情報技術	23.58%	テクノロジー	23.34%
金融	13.86%	一般消費財	15.09%
一般消費財・サービス	12.40%	金融	13.72%
ヘルスケア	11.69%	資本財	13.60%
資本財・サービス	9.64%	ヘルスケア	11.20%
コミュニケーション・サービス	8.58%	生活必需品	5.76%
生活必需品	6.80%	素材	4.13%
素材	4.67%	不動産	3.66%
エネルギー	3.40%	エネルギー	3.62%
公益	2.70%	通信サービス	2.95%
不動産	2.70%	公益	2.92%

のほとんどが円建ての金融資産をベースにしているため、国際分散投資をするにあたって、日本株は不要だという考えからです。

グローバル指標には「先進国だけ」「新興国だけ」「高

配当株式だけ」「アジア株だけ」など、さまざまなタイプがあります。保有する投信がどの国にどのような配分で投資しているのかを把握し、海外ニュースを投資判断に役立ててくださいね。